慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	ギイデイングスの歴史学説（下）
Sub Title	
Author	野村, 兼太郎
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1921
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.15, No.5 (1921. 5) ,p.732(140)- 741(149)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19210501-0140

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

も再び一二四四年に復歸するであらう。斯く言へば日附が恐しく紛糾錯雜せるが如くに見ゆるけれども、旅人は年を念頭に置かずに、月日を以て其の移動を記すであらう。彼もし日記の初に年を記さば、そは彼の住める處の年であつて、彼の通過せる旅行先の年ではないであらう。

附言　註の多くは紹介者の老婆心より補充附記せるものである。

正誤　前號本文一五三頁下段中央の英語を Solar Regulars と改む。其他は略す。

ギイディングスの歴史學說（下）

野村兼太郎

六

歴史の創造力は一つの包容力ある事業――よき生活の成就に集中される。其の到達の手段に文化と社會秩序とがある。文化は趣味、生活程度、知識及び技術を包含する。社會秩序は多種の習慣、親族關係、及び政略の制度である。歴史以前にあつては摸索したり試みたり、種々多樣の困難に相遇する。而してこゝに文化社會秩序の萠芽を見る。歴史は穿鑿し、批判し、拒否し、選擇し、保守し、變化し、附加し、結合し、改正し、改革し、改造する。

文化の歴史は行動（アクション）の歴史と等しく爭鬪の物語である。「新」は其の存在の爲めに「舊」と鬪つた。本能、習慣、趣味、感情及び種々なる利害が「舊」を助成した。實驗的衝動、清淨、便宜、安樂、健康、進取性、繁榮等は「新」と提携した。

「舊」はそれ自身を保守するに滿足しなかつた。「新」に對して爭はんと試みた。故に兩者の衝突は殘存しやうとする事業の權利の爲めの戰であつた。「舊」として殘るか、「新」として生れ發展するか。「新」も「舊」も他に對して其の本來の若しくは豫想せる極惡をなすことは出來ないから文明は存在する。

前に述べた傳襲產を構成する種々なるものよりもつと多くのものが危くなつた。遺傳も確實でなくなつた。人類の知識化の種類（種族に拘らず）が人爲淘汰に自然淘汰と同じやうに運命的に從つた。改新が許されないところでは經驗的知識も後代に傳り得ない。

社會制度の起源、構造機能及び變轉に關する吾人の知識は大部分科學的歸納に基く。

こゝに未だ知られない社會制度が殘つて居る。是等は幸に人種學者に依つて觀察された。事實科學的の正確さは有つて居ないが、ある程度までの確實性を以て觀察され敍述された。歴史以前の人々の社會組織は不完全乍らも古物學上言語學上の研究と歴史時代に殘存した民族的風習、古俗等の助に依つて形成することが出來た。是等の證據は年代記等よりも屢々價値の多いものであつた。それは後者のやうに偏執がないし、又子孫に傳へると云ふやうな意識的計畫がないからである。是等の制度すべてを吾人は總轄して原始的社會制度として記述する。

吾人が今日知つて居る複雜な社會制度に比較すると原始的社會制度は大部分殆ど信じられない程簡單である。極少數が少しく複雜である丈けである。特種の位置、住所と關聯したある典型の連續である。

最初にして且つ最も單純なるものは森林及び叢林に於ける社會制度である。其の根本的形式は小さな群（horde）と其の交通する多少の群とからなる。是等の各々は男、女、子供合せて僅かた二十人から五十人迄である。此の團體は血

族關係に就いて何も知られてない。唯本能と習慣とに依つて結合したものである。

然し其の內部に於いては神秘的關係の觀念が生ずる。種々なる事物が不思議な力――或ひは益ある、或ひは害ある力を有すると信ぜられた。幸運、惡運の基となり、病源ともなれば、又生かしもし殺しもする。それは接觸に依つて人から人、物から物へ移つてゆく傳染性を有つて居る。「魔」にも「德」にもなる。即ち魔力である。善き力もあれば惡き力もある。善き力を守護し惡き力を却ける方法がある。是等の儀式は集團的方法であつて、各團體に依つて多少違つて居る。是等は單なる動物の群居を補ふ集合的關係及び連合であつて、明かに人間の特徵である。

此の觀念及び實際からから totemism が生じ、而して現に是と同一な更に複雜な關係が現れる。是等は又自然的關係と混淆して一方に偏し慣習的となる。母系的制度が一般に父系的制度より原始的である。

草原地方の社會制度は父系的になつたが、尙ほトーテミズムや母系的關係の多くの遺物があつた。(Robertson Smith:—Kinship and Marriage in Early Arabia.) 幽靈及び幽靈崇拜の觀念が生じ、是等から祖先崇拜が發展した。父權は母系的制度の下に母方の伯父の權力以上となり、一代以上を包含する家族團體は屢々一の族長的親族團體となつた。是が起ると否とに拘らず、族長的制度は恰も母系的社會に於いてトーテムや部族の母に從つて種々な違つた慣例的種類が存在するやうに、相當結合せる戰鬪者が一つの慣例的種類を作る利益がある。

草原地方に於いて新しい社會制度が現れた。それは保護を必要とする不幸な人間と他を保護し得る力を有つ人間との間の諒解に基いたものである。原始的社會に於いては種々なる方法で奴隷を得た。彼等自身の誤から村から放逐されたり、彼等の生れた團體が戰爭の爲めに破滅した。斯して彼等は奴隷となつた。他の小數の者は戰爭の際に成功せる指揮者として特別の地位を占有し、分捕物の獲得若しくは其の他の方法に依つて富裕となつた。草原地方に於いて被征服者は牧丁として保護を受けた。比較的後世まで草原地方生活の殘つて居た愛蘭の古代法 Brehon Laws に於いて一部分は持續せる種族制度として、一部分は保護者に對する柔順奉仕として組織された社會を發見することが出來る。(Henry Sumner Maine:—Lectures on the Early History of Institutions.)

原始的農業團體の社會制度は新しいものと云ふより寧ろ舊遺制の混淆物とも云ふべきである。親族關係は母と父兩者に依つて關係が認められる範圍には母系的であるが、通常父系的である。親族は地方的團體として連合し、四代の間分割し得ぬものとして土地を所有し、而して前述したやうな保護者として他種族の被保護者に對する。親族それ自體の內に於いても階級や狀態の相異があつた。從屬者の間には認められなかつた。(Frederic Seebohm:—The Tribal System in Wales. 及び Hugh Seebohm:—The Structure of Greek Tribal Society.)

すべての原始的制度の遺物、即ち宗教的孤獨及び儀式に基くもの、慣例化された親族に基くもの及び beneficium et commendatio に基くものは現在の社會に多く存在して居る。最も興味あるものは jus sanguinis や sacramentum fidelitatis のやうな國民的法律の內に存する兩親の市民權や臣從の誓等である。

すべての文明人の社會制度は古代と現代とを

問はず一般的典型の變化したものに過ぎない。事實文明は文化社會が種族に代れるものである。都市に於いては外國人は集合し榮へて終には特權を許され、租稅や兵役の根本的義務を負擔するやうになる。而して次第に舊民族と同一になつてゆく。此の制度の根柢は機會と義務との相互關係である。

此の一般的典型の歴史的變化に就いては本質的區別をなし及び階級鬪爭、集團鬪爭との關係を明かにするに必要な程度以上に述べる必要はない。

社會は機會が分割されるが不平均であり、特權階級に依つて支配される限り貴族政治である。社會は機會が分割されるが不平均であり、資本家階級に依つて支配される限り金力政治である。社會は機會がすべてに對して要求されるが事實尙ほ不平均であり、命令する小數者に依つて支配される限り會長政治である。社會は機會が平等となり支配が平等ではないが分割されたなら民主政治となる。民主政治は若しも財產が平均され職業が命ぜられるなら共產的である。民主政治は若しも財產が其の大部分集合して保持され職業が命ぜられるなら社會主義的である。民主政治は若しも大部分の財產が個人的に保持されるが命ぜられる義務及び制限に從ふなら、且つ職業も財產と同じやうに自由に個人的に選擇されるが義務や制限に從ふなら、それは個人主義的である。民主政治と他のすべての社會制度との區別は根本的である。民主政治に於いては支配が社會のすべての者に關係する。從つて合一された社會はそれを組成するすべての社會よりも有力である。

種々なる機能を有する特種の分派以外に於いて社會は原始的であり重要でない。人類の相違から種々なる職業を生じ階級爭鬪を惹起する。優越せる少數者若しくは多數者が殆ど絕對的に支配する。革命が生じて從來の社會組織を破壞し、新しい職分的制度が成就する迄社會組織は回復し得ない。民主政治は出來るだけ安價な方法で勢力を平均しやうと云ふのである。無政府的個人主義は莫大な不平均を許容し僅な不平均を禁制する點で誤つて居る。此の極端の中間に社會化された個人主義に於ける更に微妙の平均の可能性がある。

七

吾人はこゝに學説に歸つて論ずべきである。すでに一つの解釋の假説、若しも言葉が僭越でないなら歴史の科學的説明に就いて論ずることを約束した。すでにこゝ迄で讀者は暗示を受けたことゝ思ふ。

以上述べて來たところの材料は歴史だらうか如何だらうか。分量的には極小數である。然し質量的には科學的試驗の上歴史から摘要したものである。云はゞ歴史の記名(signatures)のやうなものである。

吾人の歸納的科學は次第に記號に依つて事物に關する知識を集積する。天文學者は遠い太陽の化學的成分を知つて居る。彼等は其のスペクトルの線内に「記號」を作つたからだ。物理學者は原子を見ないが原子の記號を讀む。吾人が一般化した材料は歴史の指點に外ならない。

歴史の地理的學説は其の範圍に於いて眞理である。文明は多くの人口を維持し繁榮せしめた地方に起つた。都市人口を維持繁榮せしめた地方以外に於いて成功したことは決してなかつた。全歴史的時期の十分の九以上を通じて歴史の行動は地中海盆地に限られて居た。此の盆地は特徴ある地方から成立つて居た。その各々に

違つた文明が起つた。然し乍ら物理的環境が靜的であつた間は何事も起らなかつた。環境的變化が起つて種々な困難災厄に遭遇して、始めてこゝに人間の集合的行動が生じ社會の進化と文化の進歩が起つた。

歴史の生物學的觀察も其の範圍に於いて眞理である。歴史的の人類は繁殖を維持し同時に變化や長命を可能にする資産、換言すれば動的資産を所有して居た。生存競爭に於いて彼等は活動力と適應性とを以つて彼等自身を支持した。又彼等は無意識的に優生的生産者であつた。接近禁制や慣習に依つて、成功より生ずる誇や尊大に依つて、優秀階級の社會的獨占に依つて彼等は雜種を制限した。生物學者が panmixia と呼ぶ混淆を防止した。故に自然淘汰は單に個人許りでなく比較的純粹種族にも作用した。

又歴史の心理學的觀察も未だ完全に組成されては居ないが、矢張り其の範圍に於いて眞理である。歴史的人類は想像もなし强い得意も感じ、幻想も夢も見、感激もした。彼等の見た多くのものは幻覺であり、彼等の熱情は屢々脱却した。然し彼等の幻想から發明や發見が生じ、熱情から英雄的獻身も生じたのである。是等の内の最も優れた者が少數者の知的文明に對する獻身的努力であつた。其の内希臘人は時に於いても程度に於いても第一であつた。

歴史の人類學的學説は生物的心理的及び文化的要素を最も有害に困亂させた。Balic 族は優れた勢力と意思とを展示したが其の文化は傳來したものであつた。彼等が行つた處は何處でも優れた Mediterranean と混淆して其の文化を同化した。歴史に於いて獨創的であつた優れた部分が雜種即ち Balic 文化に依つて説明されると論ずるのは前後轉倒である。それは唯 Mediterranean の文化で進化させられた Baltic の勢力に依る Mediterranean の文化の利用としてのみ説明することが出來る。成就するのは文化に依つて優越であり得る種族の歴史的事業である。

歴史の社會學的學説は未だ形成されない。最も著名な歴史的人民は部分的利益に對する合成的利益、集合主義に對する個人主義を平均するのに他の人民より成功する可能性があつた。

是等の歴史學説はすべて其の範圍に於いて眞理である。然し乍ら是等の一つも歴史を説明するものではない。是等は悉く歴史を形成する、若しくは歴史を形成し得る條件を説明するのである。その何れも何故それが實際であつたかと云ふことを吾人に告げるものではない。

何故ならば歴史は人間の行爲であるからである。歴史は何時しか漠然として起り、曲れる水路を作り、集合的行動の無數の支流に依つて培れ、未だ開れざる將來の霞の内に洋々として流れて居る行爲の流れである。

ある場合には無數の共同に依つてなされる人間の歴史的行動は盲目なる本能的であつたこともある。又ある場合には（增加しつゝあるが）前以つて考へた政策の試みであつたこともある。是等は一人の人に依つてなされたものではない。此の理由に依つて、寧ろ定命的な理由に依つて歴史の偉人學説は破られてしまつたのである。是等のものは空想家の心の内に空想として描れ、やがて實行家に依つて行はれた。集合的行爲に變ずるには實行家が關係して、團體、階級、黨派、仲間、少數者及び多數者の内の實力ある者達に實質的利益を約束して加入せしめた。連合は動的 plurum であつた。「黨類」gang「徒黨」ring 若しくは「黨派」junto は「何處かへ行き」若しくは「何かをなさん」と心を向けたの

である。それが全體で、惡よりも善の方が無限に多くなし就げられたから尊き適當な名が與へらるべきである。即ちそれは合成せる首唱者 Composite Protagonist であつた。而して是が大膽に進み、説得、誘惑、威嚇、强制等の人間の知れるあらゆる技術を以つて歴史を作つたのである。戰爭及び階級爭鬪を起した。敵に依つて覆され、失敗に依つて破壞され、征服に依つて從はされ、若しくは革命に依つて廢せらるゝまで自己改新を行ふのであつた。

歴史である行動に於ける關係者として、本能的な群集、遍歴せる經驗家、豫想せる政策の卓見なる首領等は彼等の原始的な人間の本性以外に共通に一つの特色を有つて居た。さもなければそれは眞に彼等の人間性それ自身であつたのか？　何れにしても彼等は一の包括的種類のものであつた。すべてが冒險者であつた。すべては大膽で前進的であつた。彼等は笛の音に誘れ、誘惑物にも導れた。金の瓶の爲めに掘つたり、紫の山に登つたりした。彼等は「歡喜に逢はんが爲めに」ある「樂しき Jersalem」に巡禮せんと出掛けた。彼等は航海した、戰つた、掠奪した、復讎した。彼等は帝國を飾つたり分割したりした。絶えざる苦鬪を以つて社會秩序を創造し、而して醉へる惡魔のやうに是を破壞した。彼等は皇をも讀み、原子をも分割した。

故に歴史は冒險である。而して冒險に對する促進が歴史の原因である。此の命題が余の學説の要點である。

要するに嚴密に科學的であることは冒險に對する促進及び冒險に對する反動の平衡は勢力減少の歴史的に行はれる樣式である。

余の知り得る限りに於いて正しく而して要約される一つの十分なる理由である。實際として

の生きた具體的な歴史に歸る手近な方法である。實在として歴史は論題(theme)と物語(story)とである。論題は實在であり、物語は吾人の作れるものである。學問(scholarship)――德性の一種――は吾人の歴史の物語を誠實と云ふ見地から是正し、而して驚くべき程富ましめた。科學が發見され而して實在を明示した。知識に依つて汚されず、理解に依つて害されずに、實在は Odysseus 及び Columbus に於いて存在したところのものであり、物語は Herodotus 及び Froissart に於いて存したところのものである。實在として歴史は「冒險」であつた。而して又冒險である。物語として歴史は「大ロマンス」であつたし、現在さうであり、又時間の終るまでさうであらう。（完）

國家機能の二大分岐

奥井復太郎

一

歐洲諸國に於ける中世的社會組織が崩壞して靈界の最高權威なる羅馬法王と俗界の最高權威たる神聖羅馬皇帝とに依て代表せられし加特力教會と封建制度とが漸次其の勢力を失墜しつゝあると共に中世社會の Horizontal division は新しき nationality の勃興を中心とする vertical division を以て區劃せられたる新社會と代るに至れり。

斯の如く近代的國家の發達と共に Mercantilism の經濟思想並びに之れに適應せる經濟政策は優秀なる政治的社會的地位を占むるに及べり。即『此時代を通じて著しく富强の程度を增加し來